

1) 平成22年度 財務の概要

1) 概況

平成22年度決算では帰属収入が3,630百万円となり、昨年度の3,581百万円から49百万円の増加となりました。これは主に授業料の収入増と国庫補助金の増加によるものです。収入の主となる授業料収入は、入学者数が順調に推移しているため、増加を続けています。

一方、消費支出は3,568百万円で、昨年度の3,539百万円から29百万円の増加となりました。これは主にアトリエ棟の新設により減価償却額が増加したためです。

帰属収支差額はプラス62百万円で、昨年に引き続きプラスとなっています。

2) 資金収支計算書

収入の部、支出の部合計は予算額より72百万円増の5,697百万円となっています。学生数増による前受金増136百万円が収入増加の主な原因です。結果として、次年度繰越支払資金が予算額より544百万円増となっています。

3) 消費収支計算書

当年度消費支出超過額は予算に対して減少しています。これは消費支出が予算に比べて抑制できたことが原因です。

4) 貸借対照表

負債の部は長期借入金返済が順調に進み、平成22年度末では1,210百万円に減少となっています。

平成20年度に導入したBEMS設備のリース未払金についても順調に支払いが進んでいますが、教育用機器の新規リース未払金により、前受金を除いた負債率は14.4%と、昨年度より1.0ポイント増加しています。

資産の部は建物の新設（アトリエ棟）により、固定資産が増加し、資産の部合計は昨年度より251百万円増加の15,431百万円となっています。